

## 資料 1

### 「教科の細目」の見直し提案（新旧対照）

本提案表は、基礎研究会において審議した見直し案で、改正は本提案を踏まえ厚生労働省で審議されるものであるため、本提案については確定ではない。



建築施工系 教科の細目 R3新旧対照表 (赤字は追加、修正、削除の語句)

資料1

木造建築科		現行(平成29年改正)		R3見直し		見直し理由等
教科の科目		訓練時間	教科の細目	訓練時間	教科の細目	
系基礎学科	1	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	10		
	2	30	力の約合い、荷重と外力、応力、断面の性質	30		
	3	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	60		
	4	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	40	(語句追加) 全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <b>建築環境</b>	近年重要視されている「建築環境」を追加する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	20		
	6	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	20		
	7	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	10		
	8	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要	20		
	9	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	20		
	10	20	建築基準法、建設業法、建築士法	20		
	系基礎学科合計		250		250	
系基礎実技	1	90	機械使用法、CAD操作、OA機器操作	90		
	2	30	<b>平板測量</b> 、水準測量、角測量、測量図	30	(語句削除) 水準測量、角測量、測量図	「平板測量」は建築現場において使用されていないため削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。平板の説明が必要な場合は系基礎学科「測量」の敷地測量等で対応。
	3	30	<b>安全作業法</b> 、衛生作業法	30	(変更) 安全衛生作業法	「衛生作業法」は内容が不明瞭のため削除し、安全作業法と併せて「安全衛生作業法」とする。 <b>建築外装系5専攻科も平仄を合わせた方が良い。</b>
	系基礎実技合計		150		150	
専攻学科	1	20	デザインと構造、荷重と構造計画、木質構造用材料、木質構造の接合部、各部構造の設計	20		
	2	20	金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料	20		
	3	30	<b>図板・尺杖等の作成方法</b> 、さしがね使用法、勾配、勾・安・玄の名称及び長さの計算、四方転び、隅木	30	(語句削除) さしがね使用法、勾配、勾・安・玄の名称及び長さの計算、四方転び、隅木	図板・尺杖等の作成方法は規矩術ではなく、工作法がふさわしいので移動する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	4	30	構造材の墨付け及び切組、造作材の木ごしらえ及び取付け	30	(語句追加) <b>図板・尺杖等の作成方法</b> 、構造材の墨付け及び切組、造作材の木ごしらえ及び取付け	図板・尺杖等の作成方法は規矩術ではなく、工作法がふさわしいので移動する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	30	墨付け、仕口と継手、造作、断熱・気密、防腐、防音	30		
	6	20	仕様及び積算	20		
	専攻学科合計		150		150	
専攻実技	1	50	木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、手工具の取扱い	50		
	2	100	木工機械及び手工具による加工	100		
	3	150	木造建築物の施工、詳細図、施工図等作成	150		
	専攻実技合計		300		300	

建築施工系 教科の細目 R3新旧対照表 (赤字は追加、修正、削除の語句)

資料1

枠組壁建築科		現行(平成29年改正)		R3見直し		見直し理由等	
教科の科目		訓練時間	教科の細目	訓練時間	教科の細目		
系基礎学科	1	建築概論	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	10		
	2	構造力学概論	30	力の約合い、荷重と外力、応力、断面の性質	30		
	3	建築構造概論	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	60		
	4	建築計画概論	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	40	(語句追加) 全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <b>建築環境</b>	近年重要視されている「建築環境」を追加する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	建築生産概論	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	20		
	6	建築設備	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	20		
	7	測量	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	10		
	8	建築製図	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要	20		
	9	安全衛生	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	20		
	10	関係法規	20	建築基準法、建設業法、建築士法	20		
	系基礎学科合計		250		250		
系基礎実技	1	機械操作基本実習	90	機械使用法、CAD操作、OA機器操作	90		
	2	測量基本実習	30	<b>平板測量</b> 、水準測量、角測量、測量図	30	(語句削除) 水準測量、角測量、測量図	「平板測量」は建築現場において使用されていないため削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。平板の説明が必要な場合は系基礎学科「測量」の敷地測量等で対応。
	3	安全衛生作業法	30	<b>安全作業法</b> 、衛生作業法	30	(変更) 安全衛生作業法	「衛生作業法」は内容が不明瞭のため削除し、安全作業法と併せて「安全衛生作業法」とする。 <b>建築外装系5専攻科も平仄を合わせた方がよい。</b>
	系基礎実技合計		150		150		
専攻学科	1	枠組壁工法	20	北米等の木造建築、枠組壁工法の定義、各部の構造、構造計画	20		
	2	材料	30	枠組材、面材、造作材、金物と釘、接着剤、建築材料一般	30		
	3	規く術	30	さしがね使用法、勾配、勾・爰・玄の名称及び長さの計算法、四方転び、隅木	30		
	4	枠組壁建築施工工法	50	躯体の構成、工作の特性と工程、工法と基準、施工法	50		
	5	仕様及び積算	20	仕様書、積算	20		
	専攻学科合計		150		150		
専攻実技	1	器工具使用法	50	木工機械の取扱い、電動工具の取扱い、手工具の取扱い	50		
	2	部材加工実習	100	木工機械・手工具による加工法	100		
	3	枠組壁建築施工実習	150	枠組壁建築物の施工	150		
	専攻実技合計		300		300		

建築施工系 教科の細目 R3新旧対照表 (赤字は追加、修正、削除の語句)

資料1

とび科		現行(平成29年改正)		R3見直し		見直し理由等
教科の科目		訓練時間	教科の細目	訓練時間	教科の細目	
系基礎学科	1	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	10		
	2	30	力の約合い、荷重と外力、応力、断面の性質	30		
	3	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	60		
	4	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	40	(語句追加) 全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <b>建築環境</b>	近年重要視されている「建築環境」を追加する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	20		
	6	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	20		
	7	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	10		
	8	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要	20		
	9	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	20		
	10	20	建築基準法、建設業法、建築士法	20		
	系基礎学科合計		250		250	
系基礎実技	1	90	機械使用法、CAD操作、OA機器操作	90		
	2	30	<b>平板測量</b> 、水準測量、角測量、測量図	30	(語句削除) 水準測量、角測量、測量図	「平板測量」は建築現場において使用されていないため削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。平板の説明が必要な場合は系基礎学科「測量」の敷地測量等に対応。
	3	30	<b>安全作業法</b> 、衛生作業法	30	(変更) 安全衛生作業法	「衛生作業法」は内容が不明瞭のため削除し、安全作業法と併せて「安全衛生作業法」とする。 <b>建築外装系5専攻科も平仄を合わせた方が良い。</b>
	系基礎実技合計		150		150	
専攻学科	1	20	とび工事用器工具、仮設材、木質系材料、金属系材料、コンクリート系材料、その他の材料	20		
	2	40	工事用機械及び設備、施工計画及び管理、木工事(建方等)、鉄骨工事(建方・接合等)、コンクリート工事、建物解体工事	40		
	3	40	仮設建物の組立て及び解体、足場の組立て及び解体	40		
	4	30	<b>掘削工事</b> 、排水工事、山留め工事、杭・地業工事	30	(語句追加) 掘削工事、排水工事、山留め工事、 <b>支保工工事</b>	「支保工工事」を追加。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	20	仕様書、積算	20		
	専攻学科合計		150		150	
専攻実技	1	40	とび工事用器工具の使用法	40		
	2	30	玉掛、揚重、運搬	30		
	3	100	仮設建物の組立て及び解体、足場の組立て及び解体	100		
	4	100	鉄骨建方、木造建方、コンクリート工事、建物解体	100		
	5	30	<b>掘削工事</b> 、排水工事、山留め工事、 <b>杭・地業工事</b>	30	(語句修正、追加) 掘削工事、排水工事、山留め工事、 <b>支保工工事</b>	・杭地業工事は誤記載のため、「杭・地業工事」に修正。 ・「支保工工事」を追加。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	専攻実技合計		300		300	

建築施工系 教科の細目 R3新旧対照表 (赤字は追加、修正、削除の語句)

資料1

鉄筋コンクリート施工科		現行(平成29年改正)		R3見直し		見直し理由等
教科の科目		訓練時間	教科の細目	訓練時間	教科の細目	
系基礎学科	1	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	10		
	2	30	力の約合い、荷重と外力、応力、断面の性質	30		
	3	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	60		
	4	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	40	(語句追加) 全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <b>建築環境</b>	近年重要視されている「建築環境」を追加する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	20		
	6	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	20		
	7	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	10		
	8	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要	20		
	9	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	20		
	10	20	建築基準法、建設業法、建築士法	20		
	系基礎学科合計		250		250	
系基礎実技	1	90	機械使用法、CAD操作、OA機器操作	90		
	2	30	<b>平板測量</b> 、水準測量、角測量、測量図	30	(語句削除) 水準測量、角測量、測量図	「平板測量」は建築現場において使用されていないため削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。平板の説明が必要な場合は系基礎学科「測量」の敷地測量等に対応。
	3	30	<b>安全作業法</b> 、衛生作業法	30	(変更) 安全衛生作業法	「衛生作業法」は内容が不明瞭のため削除し、安全作業法と併せて「安全衛生作業法」とする。 <b>建築外装系5専攻科も平仄を合わせた方が良い。</b>
	系基礎実技合計		150		150	
専攻学科	1	20	建築施工の概要、総合施工計画、鉄筋コンクリート工事計画	20		
	2	40	金属系材料、木質系材料、セメント系材料、プラスチック系材料、その他の材料	40		
	3	30	施工設備工事の計画、共通仮設工事、足場、揚重・運搬設備	30		
	4	40	基礎工事、鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事、仕上工事、その他の工事	40		
	5	20	仕様書、積算	20		
	専攻学科合計		150		150	
専攻実技	1	40	型枠、鉄筋コンクリート施工用器具、ガス溶接、アーク溶接	40		
	2	30	型枠墨出し、仮設物墨出し	30		
	3	50	仮設物組立て及び解体	50		
	4	60	型枠組立て及び解体	60		
	5	60	鉄筋の加工及び組立て	60		
	6	60	コンクリートの打設及び養生	60		
	専攻実技合計		300		300	

建築施工系 教科の細目 R3新旧対照表 (赤字は追加、修正、削除の語句)

資料1

プレハブ建築科		現行(平成29年改正)		R3見直し		見直し理由等
教科の科目		訓練時間	教科の細目	訓練時間	教科の細目	
系基礎学科	1	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	10		
	2	30	力の約合い、荷重と外力、応力、断面の性質	30		
	3	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	60		
	4	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	40	(語句追加) 全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <b>建築環境</b>	近年重要視されている「建築環境」を追加する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	20		
	6	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	20		
	7	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	10		
	8	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要	20		
	9	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	20		
	10	20	建築基準法、建設業法、建築士法	20		
	系基礎学科合計		250		250	
系基礎実技	1	90	機械使用法、CAD操作、OA機器操作	90		
	2	30	<b>平板測量</b> 、水準測量、角測量、測量図	30	(語句削除) 水準測量、角測量、測量図	「平板測量」は建築現場において使用されていないため削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。平板の説明が必要な場合は系基礎学科「測量」の敷地測量等で対応。
	3	30	<b>安全作業法</b> 、衛生作業法	30	(変更) 安全衛生作業法	「衛生作業法」は内容が不明瞭のため削除し、安全作業法と併せて「安全衛生作業法」とする。 <b>建築外装系5専攻科も平仄を合わせた方が良い。</b>
	系基礎実技合計		150		150	
専攻学科	1	30	プレハブ構法の分類、主要構造部品別構法、各種プレハブ構法の設計計画	30		
	2	40	仮設材、構造材、下地材、造作材、仕上げ材	40		
	3	60	木質系・鉄鋼系・コンクリート系プレハブ建築物の構造・組立法・造作	60		
	4	20	仕様書、積算	20		
	専攻学科合計		150		150	
専攻実技	1	50	プレハブ建築用機械の取扱い、電動工具の取扱い、木材加工用手工具の使用法	50		
	2	100	プレハブ建築用機械及び手工具による加工法	100		
	3	150	プレハブ建築物の施工法	150		
	専攻実技合計		300		300	

建築施工系 教科の細目 R3新旧対照表 (赤字は追加、修正、削除の語句)

資料1

建築設計科		現行(平成29年改正)		R3見直し		見直し理由等
教科の科目		訓練時間	教科の細目	訓練時間	教科の細目	
系基礎学科	1	10	建築の概要、建築物の種類、建築史	10		
	2	30	力の約合い、荷重と外力、応力、断面の性質	30		
	3	60	木造建築、プレハブ建築、枠組壁建築、鉄筋コンクリート造建築、鉄骨造建築	60		
	4	40	全体計画、各部の計画、計画の進め方	40	(語句追加) 全体計画、各部の計画、計画の進め方、 <b>建築環境</b>	近年重要視されている「建築環境」を追加する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	5	20	機械、工程管理、資材管理、生産管理、契約事務	20		
	6	20	設備計画、給排水設備、電気設備、空調設備、その他の設備	20		
	7	10	測量一般、測量機器、敷地測量、図面及び計算	10		
	8	20	製図用具及び用紙、製図通則、建築製図の概要	20		
	9	20	安全衛生管理、安全衛生関係法規、安全作業法	20		
	10	20	建築基準法、建設業法、建築士法	20		
	系基礎学科合計		250		250	
系基礎実技	1	90	機械使用法、CAD操作、OA機器操作	90		
	2	30	<b>平板測量</b> 、水準測量、角測量、測量図	30	(語句削除) 水準測量、角測量、測量図	「平板測量」は建築現場において使用されていないため削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。平板の説明が必要な場合は系基礎学科「測量」の敷地測量等に対応。
	3	30	<b>安全作業法</b> 、衛生作業法	30	(変更) 安全衛生作業法	「衛生作業法」は内容が不明瞭のため削除し、安全作業法と併せて「安全衛生作業法」とする。 <b>建築外装系5専攻科も平仄を合わせた方が良い。</b>
	系基礎実技合計		150		150	
専攻学科	1	50	静定構造物、不静定構造物、応力と変形、断面算定	50		
	2	90	鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、木構造、その他の構造、材料	90		
	3	50	意匠計画・構造計画・設備計画の進め方、 <b>建築環境調整</b> 、各種建築物の建築計画	50	(語句削除) 意匠計画・構造計画・設備計画の進め方、建築物の各種建築計画	系基礎学科に「建築環境」が追加されたので、建築計画の「建築環境調整」を削除する。訓練時間の増減はなく、時間内で対応。
	4	50	各種建築物の設計、建築設計図の種類及び内容、CAD・CG	50		
	5	60	仮設工事、土工事、鉄筋コンクリート工事、鉄骨工事、木工事、仕上げ工事、仕様及び積算	60		
	専攻学科合計		300		300	
専攻実技	1	130	木造建築物の設計及び製図	130		
	2	70	鉄骨造建築物の設計及び製図	70		
	3	100	鉄筋コンクリート造建築物の設計及び製図	100		
	専攻実技合計		300		300	